

## 自己評価報告書(最終報告)

報告者

幼年発達支援コース  
／塩路 晶子

### ■平成24年度の目標に対する自己点検・評価

#### I. 学長の定める重点目標

##### I-1. 科研費申請に向けた計画等

国立大学法人運営費交付金は年々削減され、教員の研究費配分も厳しくなっており、教員各自が研究のための外部資金を獲得しなければならない状況である。そこで、科研費申請に向けて、あなたが考えているテーマと計画等について示してほしい。

#### 1. 目標・計画

これまで、アメリカ進歩主義教育に関する史的研究を継続的に行っており、2009年から2011年度までも科研費を受託した。今後はアメリカのpreschoolやnursery schoolにおける進歩主義教育に関する計画を行う予定である。

#### 2. 点検・評価

本年度はアメリカのpreschoolやnursery schoolにおける進歩主義教育に関する基礎資料を収集し、整理を行った。

また、『日本教師教育学会年報』第21号(2012年9月発行)に、論文「ハワイの進歩主義教育における幼稚園教師の力量に関する史的考察」が掲載された。(査読有り)

##### I-2. 大学院学生定員の充足に向けた取り組み

専攻・コースのこれまでの大学院学生定員の充足状況を踏まえた上で、あなたは定員充足のためにどのような取り組みを行うか、具体的に示してほしい。

#### 1. 目標・計画

これまでも、徳島県内の幼稚園教員や保育所保育士に対して、大学院入学を案内してきた。今後も、修了生を介するなどして、積極的に入学を促していきたい。

#### 2. 点検・評価

幼年発達支援コース修了生研修会において、大学院案内を行うと共に、他から紹介された受験希望者に対しても個別に大学院案内を行った。

また大学において開催された春の大学院説明会に参加し、大学院案内を行った。

## Ⅱ. 分野別

### Ⅱ-1. 教育・学生生活支援

#### 1. 目標・計画

大学で学ぶ歴史的・理論的内容と、現在の保育現場での課題を結びつけることができるような授業を行う予定である。また、学部2年生の担任として、学生が有益な学生生活を送ることができるよう支援したい。

#### 2. 点検・評価

学部授業「乳児保育」においては、「赤ちゃんサロン」を3回、開催し、乳児と保護者を大学に招き、学生が保育を体験する場を設け、理論と実践を有機的に関連させる授業を展開した。

学部授業「乳幼児教育研究法1」においては、附属幼稚園の幼児を大学に招き、学生が遊びの指導計画を立て、保育をして振り返りを行うといった、理論と実践を有機的に関連させる授業を展開した。(平成24年度フレンドシップ事業)

また、9月24日・25日には、2年次生の担任として、合宿研修を引率し、自己アピールの作成を指導すると共に、有益な学生生活を送ることが出来るようアドバイスした。

### Ⅱ-2. 研究

#### 1. 目標・計画

アメリカのpreschoolやnursery schoolにおける進歩主義教育に関する計画を行う予定である。

#### 2. 点検・評価

本年度はアメリカのpreschoolやnursery schoolにおける進歩主義教育に関する基礎資料を収集し、整理を行った。

また、『日本教師教育学会年報』第21号(2012年9月発刊)に、論文「ハワイの進歩主義教育における幼稚園教師の力量に関する史的考察」が掲載された。(査読有り)

さらに、学長裁量経費に、代表者として応募し、「保育実践力を育成する教育プログラムに関する研究－乳児の遊びと保護者支援に向けて」が採択された。

## Ⅱ-3. 大学運営

### 1. 目標・計画

大学院教務委員会委員および、就職委員会委員をつとめる予定である。

### 2. 点検・評価

大学院教務委員会委員を務めた。その中で、「カリキュラム・ポリシー及びディプロマ・ポリシー策定専門部会」ならびに、「鳴門教育大学授業実践研究」誌編集専門部会の委員としても参画した。

さらに、就職委員会委員も務めた。

## Ⅱ-4. 附属学校・社会との連携, 国際交流等

### 1. 目標・計画

附属幼稚園が文部科学省から研究開発学校として指定を受けている「幼小接続のカリキュラム開発」に関する研究において、研究担当者としてたずさわる。

### 2. 点検・評価

月2回程度、附属幼稚園の園内研究会に継続して参加しており、附属幼稚園が文部科学省から研究開発学校として指定を受けている「幼小接続のカリキュラム開発」に関する研究において、研究担当者としてたずさわった。今年度も附属幼稚園の研究紀要「幼小接続の教育課程開発—遊誘財がひきだす科学的思考2—」(第46集)に、「遊びの中で幼児の数経験を支えるものについて—NCTMスタンダードと附属幼稚園の事例を比較して—」を執筆した。

第3回四国女性研究者フォーラムのシンポジスト(徳島大学・2012年11月2日)を務めた。

## Ⅲ. 本学への総合的貢献(特記事項)

就職委員会委員としての、個人面接等以外にも、幼稚園教員や保育所保育士をめざす学生に対して、個別に面接対策や、論文対策を行い、学生が希望する就職をすることができるように、尽力した。